

2020年開催
FUKUSHI meets！ インターンシップ
開催報告書



あなたとワタシのフクシのアシタ

FACE to FUKUSHI

1. FUKUSHI meets!とは

◎ 福祉系大学生と福祉法人の新たな出会いの窓口に

- 2014年度にFUKUSHIビッグバン!と銘打って、大阪で福祉法人の紹介パネル展+合同説明会を開催したことから活動が始まった。
- 2015年度からは東京で開催。合同説明会形式で、全国から出展法人を集めて開催。
- 仕事のリアルを知るために、学生と福祉法人の「対話」を大切にしている。スーツ禁止、カフェのような設えで、会場全体で対話しやすい空気づくりをしている。
- 2016年度、春からは大阪でも開催。

◎ 2020年3月で7年目を迎える福祉就職フェアです!

- 2014年6月20日(金)~7月26日(土)@大阪
- 2015年8月2日(日)@東京
- 2016年3月21日(月)、7月3日(日)@東京
- 2017年3月20日(月・祝)@大阪、3月27日(月)@東京
- 2018年3月14日(水)・15日(木)、6月3日(日)@大阪、3月21日(水・祝)・22日(木)、5月20日(日)@東京
- 2019年3月18日(月)、19日(火)、4月20日(土)、5月26日(日)@大阪、
3月21日(木)、22日(金)、4月28日(日)、5月19日(日)@東京、6月20日(土)@WEST
6月21日(日)@EAST、7月26日(日)@WEST・EAST、8月30日(日)@WEST・EAST



1. FUKUSHI meets! インターンシップとは

- 福祉系大学生に、早い段階で福祉の現場のリアルを知ってもらえるきっかけづくりに
 - FUKUSHI meets!福祉就職フェアにご参加いただいた、熱心な1～3年生の「福祉の現場のことをもっと知りたい」「なかなか現場を知る機会が少ない」という声を受けて、就職を考える4年生だけではなく、もっと早い段階で福祉の現場のリアルを知ってもらい、もっとたくさんの方に福祉の仕事に関心を持ってもらえるようにという思いから始まったイベント。
 - 福祉の仕事の魅力、素晴らしさ、重要性を伝えながら、これからの福祉を支える仲間になるきっかけづくりを目的に実施。
 - 仕事のリアルを知るために、学生と福祉法人の「対話」を大切にしている。スーツ禁止、カフェのような設えで、会場全体で対話しやすい空気づくりをしている。
 - これまでは「インターンシップフェア」を企画の軸にしながらも、音楽×福祉、芸術×福祉、スポーツ×福祉など様々な角度から福祉を楽しめるイベントである「フクシゴトフェス!!」として開催してきた。
 - 2019年度は、福祉の現場・しごとのことをこれまで以上にわかってもらい、インターンシップ先を探すことのできるイベントとして「FUKUSHI meets!インターンシップ」として開催した。
 - 2020年度は、コロナウイルス感染拡大予防のため、オンラインにて開催。

2. 開催結果概要

| 開催日 | エリア | 出展団体数 | 事前申込数 | 参加者数 |
|----------|------|-------|-------|------|
| 6月28日（日） | WEST | 16団体 | 190名 | 129名 |
| 7月5日（日） | EAST | 19団体 | 202名 | 151名 |

| | |
|----------|---|
| 参加対象者 | 福祉業界で就職を目指している大学生・専門学校生 |
| 出展法人の特徴 | FACE to FUKUSHIが厳選した、全国各地の福祉法人 |
| 当日のプログラム | <ul style="list-style-type: none">・オープニングセッション ゲストに鮫島隆紘さん（株式会社福祉新聞社 編集部記者）と、馬場 拓也さん（社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事）をお迎えして、「これからの福祉、これからの就活」をテーマにした、クロストーク・ブース型説明会・フクシゴトトークショー 全国社会福祉協議会、厚生労働省、法務省保護観察官、児童養護施設の職員さんによるトークショー |
| フェアの特徴 | <ul style="list-style-type: none">◆ 全国最先端の福祉法人が集まる◆ オープニングセッションで、就活についてのクロストークが聞ける◆ 福祉への熱量の高い学生が多数来場 |

3. 広報媒体

➤ イベント申込サイト

➤ イベント特設サイト

➤ 出展法人一覧

各日程別開催結果

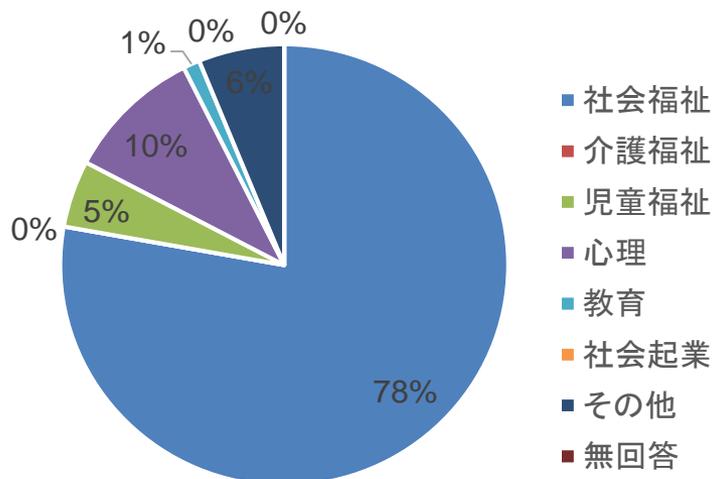
➤ 出展法人データ

| | |
|-----------|----------------|
| 出展法人数 | 16法人 |
| ブース訪問学生数 | 17.7名 / 1法人あたり |
| 次の接点への移行率 | 54.32% |
| 法人満足度 | 80.0% |

➤ 参加学生データ

| | |
|----------|-----------------|
| 参加学生数 | 129名(事前申込190名) |
| ブース訪問数平均 | 2.2法人 / 学生1名あたり |
| 学生満足度 | 88.9% |

➤ 参加学部



➤ 参加人数の多かった学校上位10校

| | |
|-----------|----|
| 神戸女子大学 | 10 |
| 福井県立大学 | 9 |
| 同志社大学 | 9 |
| 龍谷大学 | 8 |
| 県立広島大学 | 7 |
| 西南学院大学 | 6 |
| 龍谷大学短期大学部 | 5 |
| 大分大学 | 4 |
| 神戸学院大学 | 4 |
| 金城学院大学 | 4 |

● その他参加学校 (参加人数が多い順に表記)

| | | |
|----------|----------|----------|
| 関西大学 | 福岡大学 | 日本福祉大学 |
| 佛教大学 | 福岡県立大学 | 南山大学 |
| 立命館大学 | 武庫川女子大学 | 大阪経済大学 |
| 大阪樟蔭女子大学 | 富山福祉短期大学 | 川崎医療福祉大学 |
| 山口県立大学 | 藤女子大学 | 静岡福祉大学 |
| 立教大学 | 桃山学院大学 | 神戸女学院大学 |
| 名古屋市立大学 | 東京通信大学 | 松山大学 |
| 島根大学 | 天理大学 | 広島文教女子大学 |
| 皇學館大学 | 追手門学院大学 | 広島修道大学 |
| 九州産業大学 | 長崎大学 | |
| 関西学院大学 | 大正大学 | |
| 沖縄大学 | 大阪府立大学 | |
| 愛知淑徳大学 | 大阪人間科学大学 | |
| 愛知県立大学 | 大阪市立大学 | |

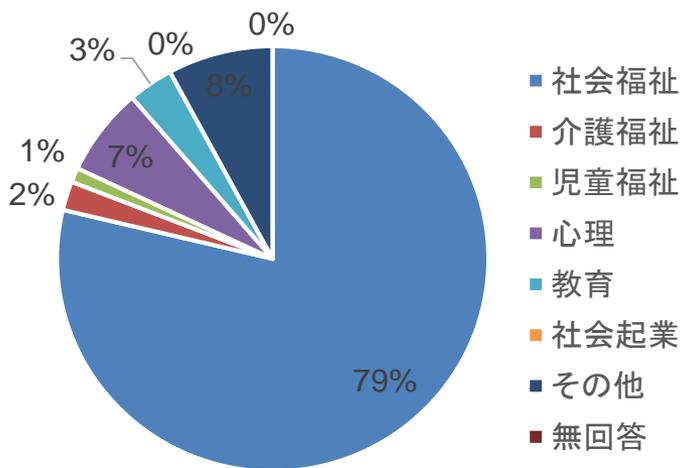
出展法人データ

| | |
|-----------|---------------|
| 出展法人数 | 19法人 |
| ブース訪問学生数 | 2.2名 / 1法人あたり |
| 次の接点への移行率 | 49.44% |
| 法人満足度 | 89.4% |

参加学生データ

| | |
|----------|------------------|
| 参加学生数 | 151名(事前申込202名) |
| ブース訪問数平均 | 17.2法人 / 学生1名あたり |
| 学生満足度 | 91.0% |

参加学部



立教大学
 昭和女子大学
 新潟大学
 創価大学
 大妻女子大学
 東北福祉大学
 日本社会事業大学
 宮城学院女子大学
 帝京平成大学
 東海大学
 東京福祉大学
 立正大学
 金城学院大学
 西武文理大学
 筑波大学

参加人数の多かった学校上位10校

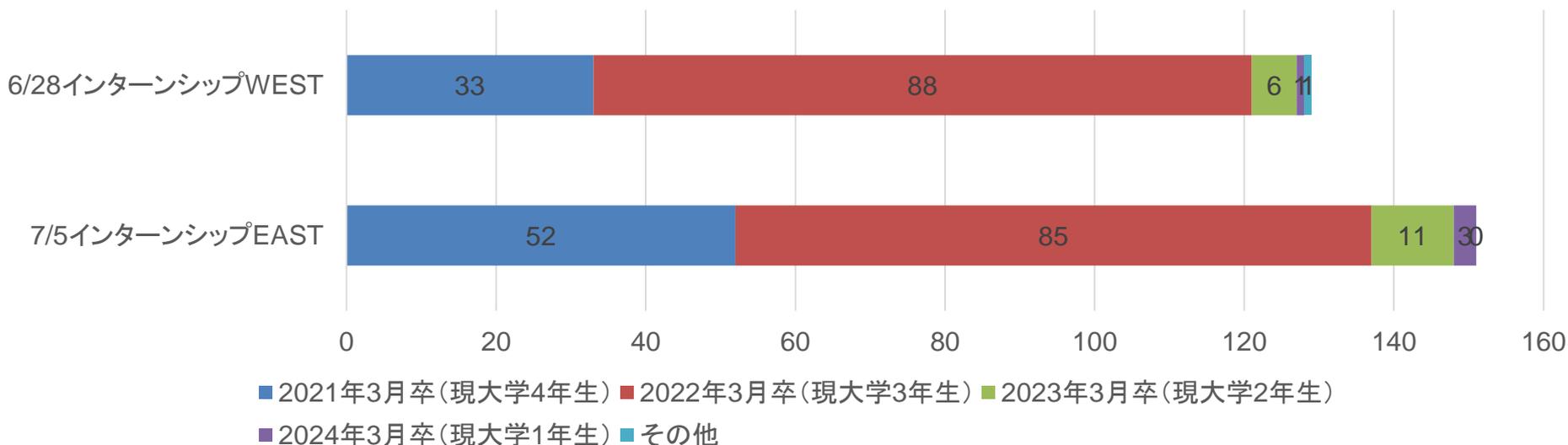
| | |
|---------------|----|
| 駒澤大学 | 14 |
| 大正大学 | 7 |
| 明治学院大学 | 6 |
| ルーテル学院大学 | 5 |
| 神奈川県立保健福祉大学 | 5 |
| 田園調布学園大学 | 5 |
| 東洋大学(朝霞キャンパス) | 5 |
| 武蔵野大学 | 5 |
| 福井県立大学 | 5 |
| 法政大学 | 5 |

●その他参加学校(参加人数が多い順に表記)

| | | |
|------------|---------|-----------|
| 天理大学 | 埼玉県立大学 | 南山大学 |
| 東京家政大学 | 桜美林大学 | 富山福祉短期大学 |
| 東京成徳大学 | 三重短期大学 | 文教大学 |
| 日本福祉教育専門学校 | 城西国際大学 | 北海道医療大学 |
| 愛知県立大学 | 常磐大学 | 名古屋市立大学 |
| 一橋大学国際・公共政 | 信州大学 | 明治大学 |
| 策大学院 | 信州大学大学院 | 龍谷大学短期大学部 |
| 関西学院大学 | 聖学院大学 | |
| 岩手県立大学 | 早稲田大学 | |
| 金城大学 | 中央大学 | |
| 群馬医療福祉大学 | 津田塾大学 | |
| 敬和学園大学 | 帝京大学 | |
| 健康科学大学 | 東京学芸大学 | |
| 皇學館大学 | 首都大学東京 | |
| 高崎医療福祉カレッジ | | |

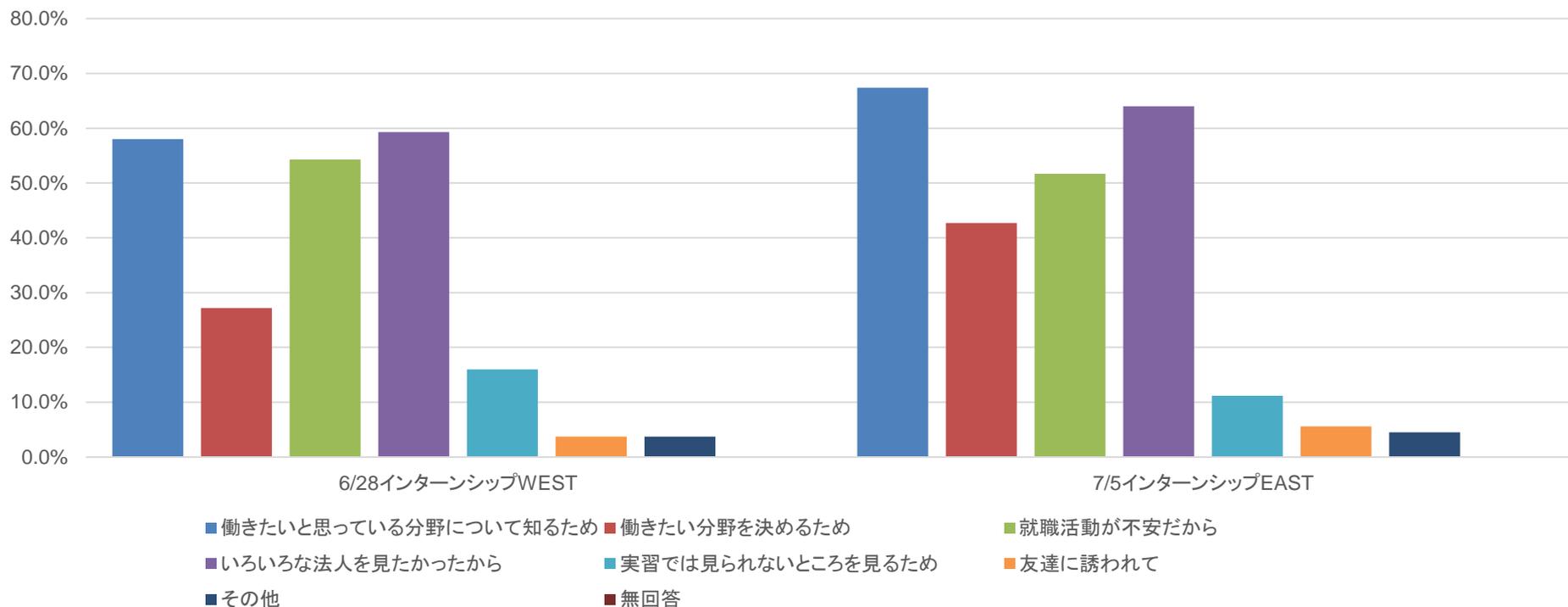
開催結果まとめ

1. 参加学生の学年の内訳



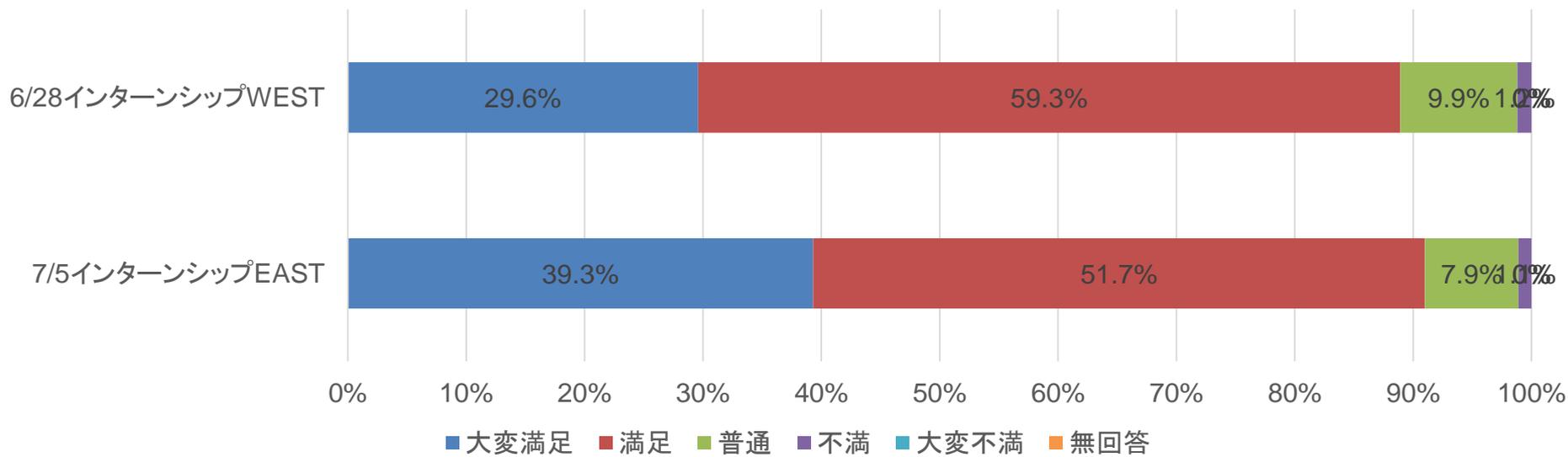
- どちらの開催月も、メインの参加者は3年生となった。
- 4年生の参加も1/3ほどあり、例年よりも多かった。コロナウイルスの影響により、就職活動が長期化していることや、出足が遅かった4年生が参加していたと思われる。

2. インターンシップフェアの参加動機



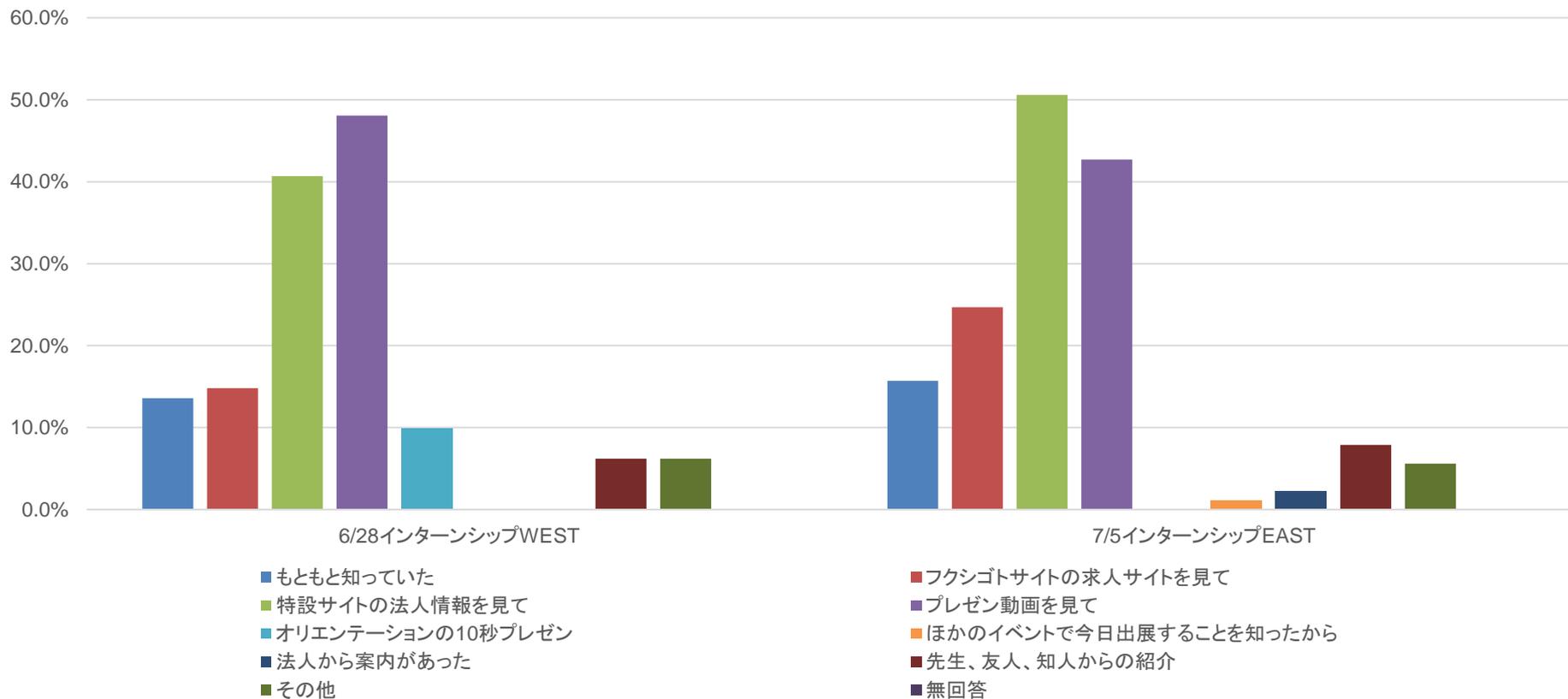
- 参加者の2/3が3年生という結果の中で、「就職活動が不安だから」という回答が5割を超えていることから、コロナウイルスの影響で就職活動の先行き不安を感じている学生が多いのではないかとと思われる。
- 早い時期から、自分の興味関心領域をしぼり、働きたいと思える分野を決めたいという動きが伺える。

3. 参加学生の満足度



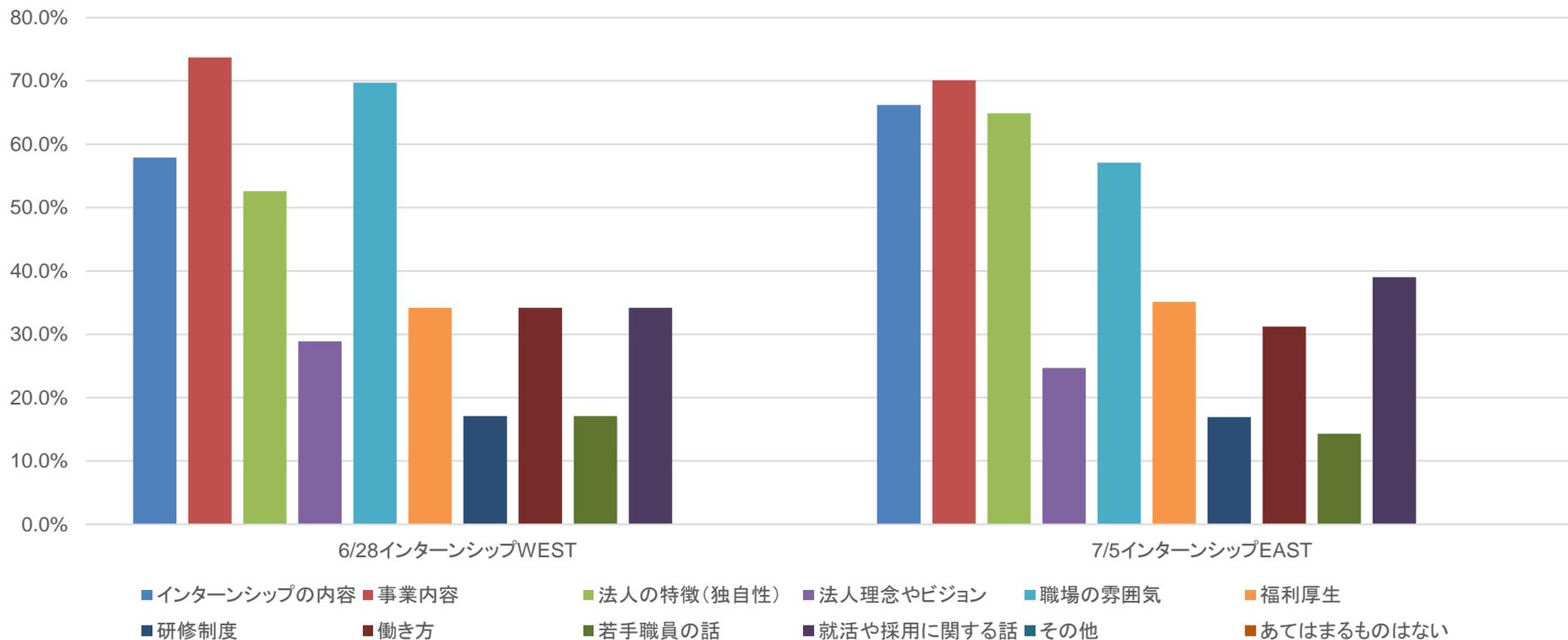
- どちらの開催月も、9割ほどの学生が大変満足及び満足であると回答があった。
- 大学での授業もオンラインとなる中で、オンライン上での参加に学生も慣れてきたことが伺える。

4. 各ブースを訪問した理由



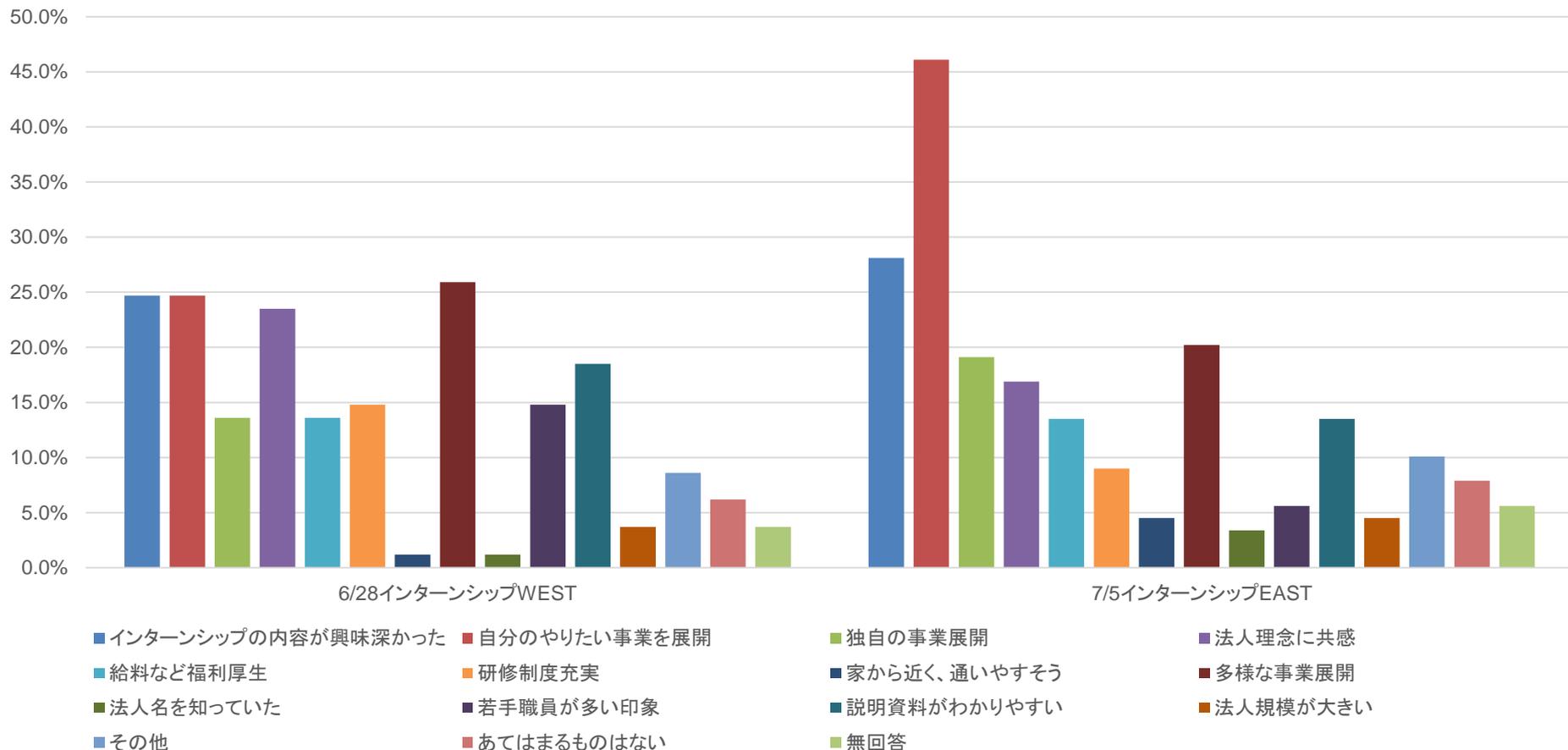
- 学生の動きとしては、特設サイトやフクシゴトサイトに掲載していた法人情報を事前にしっかりと確認し、さらに、紹介ムービーも見て、どのブースに行こうか決めている。
- 参加前に法人の情報収集をしっかりしているため、オンライン開催は事前の情報提供が重要度が高いといえる。
- 就職フェアのアンケート結果と比べても、同様の結果となった。

5. 各ブースで聞いたかったこと



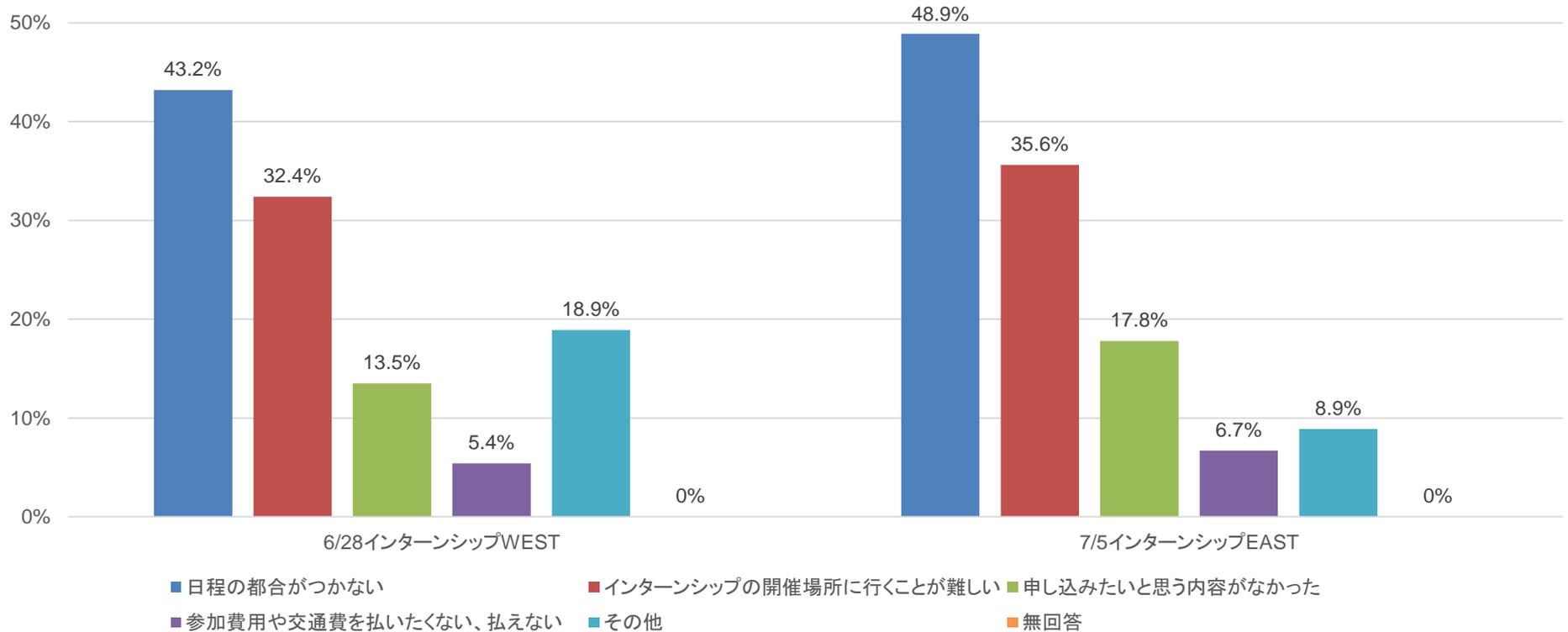
- 「インターンシップの内容」もさることながら、「事業内容」の比率は高い。インターンシップフェア参加動機と照らしても納得の結果になった。
- 「職場の雰囲気」はオンラインであっても重要なポイントになっていることがわかる。ブース内で、どのようにして法人の雰囲気を伝えていくか、各法人の工夫のしどころと思われる。

6. 印象に残ったブース（最大3つを選択）



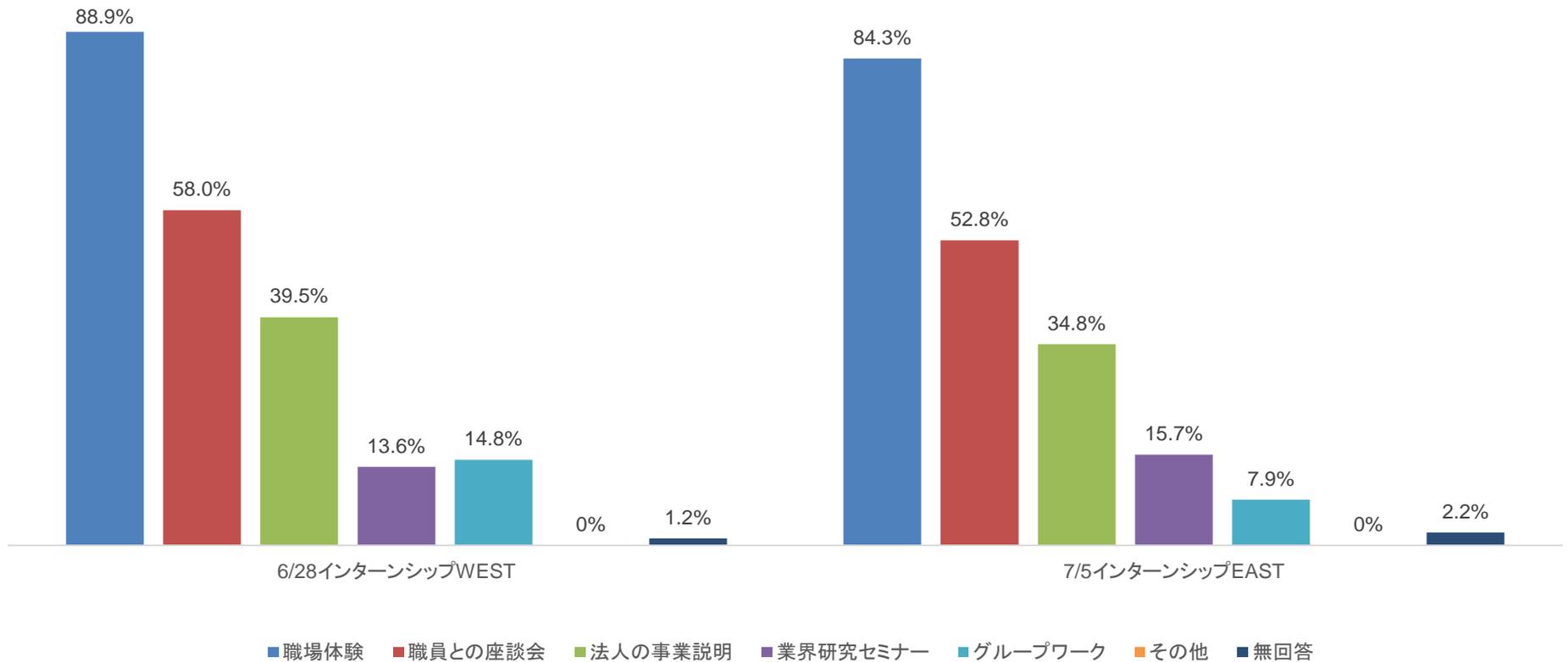
- インターンシップの内容にいかに関心をもってもらえるか、が重要であるという結果になった。
- 学生は自分のやりたい事業を展開しているかどうかと、福利厚生、多様な事業展開に注目していることがわかる。この点は、就職フェアのアンケート結果と比べても、同様の結果となった。

7. インターンシップに申し込まなかった理由



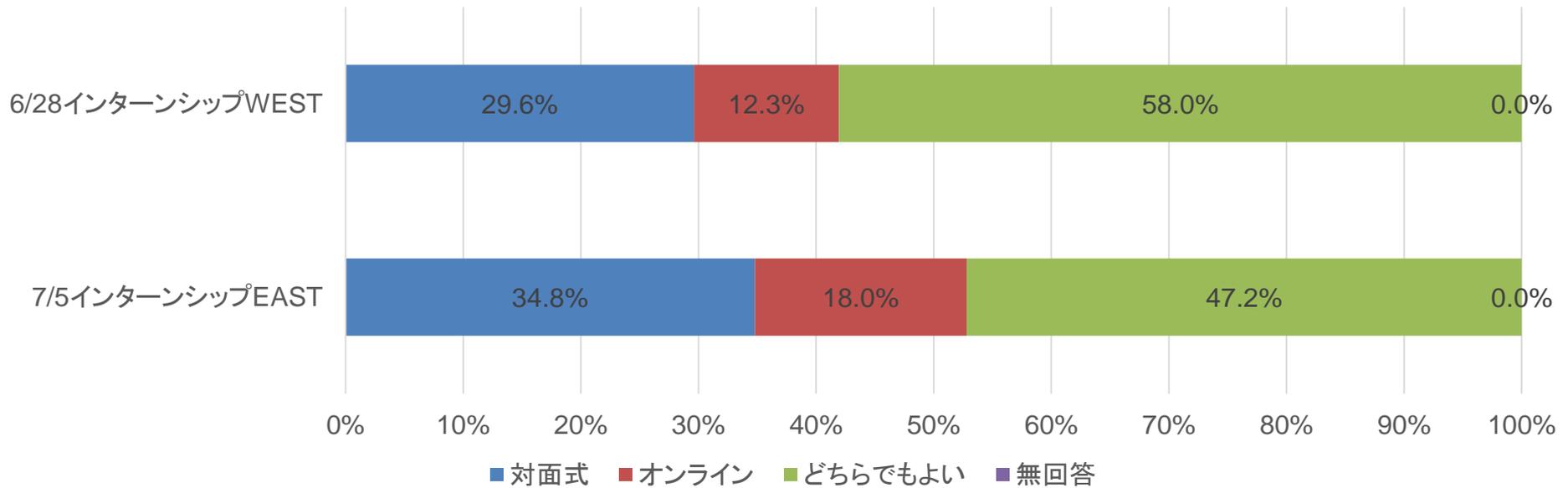
- 「日程の都合がつかない」という理由が1位。可能であれば、インターンシップ受け入れ日を複数提示できると、申込率が上がる可能性があると思われる。
- その他の中のコメントとして、「実習期間や実習準備期間とかぶっている」「授業との都合がつかない」という回答もあり。今年に限っては、夏季休暇を短縮する学校や、授業のずれ込みもあり、予定が立てられない学生も多かったか。

8. インターンシップに期待する内容（複数回答）



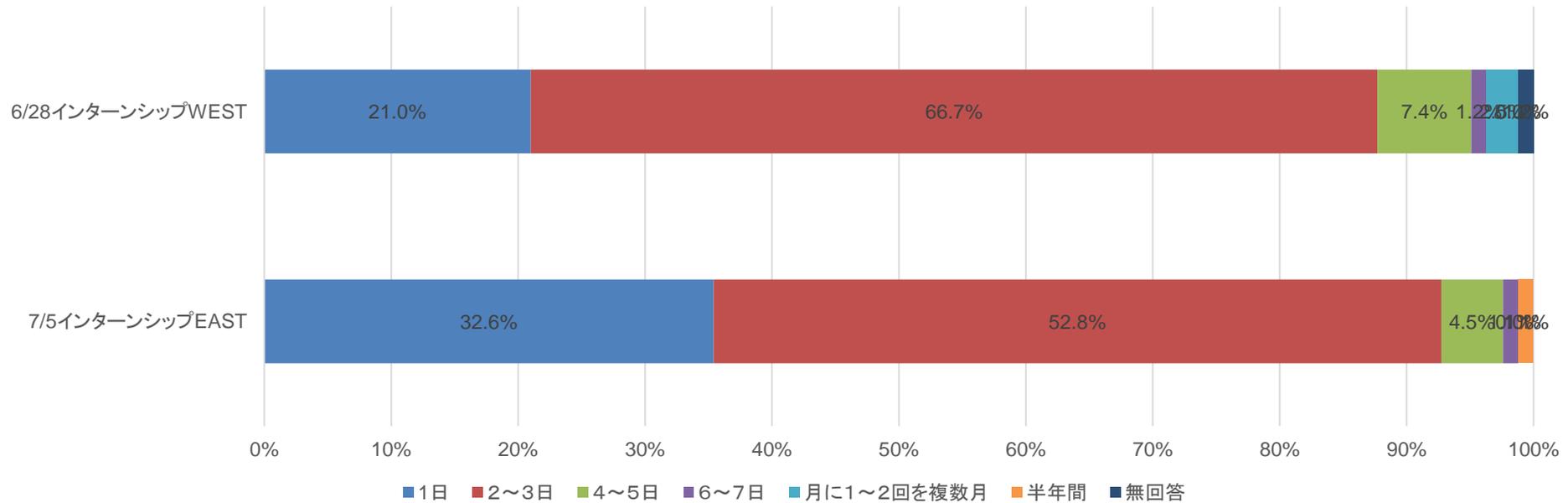
- 職場体験が群を抜いて1位となっており、授業では学べない職場での実際の大変に期待をしている学生が多いことがわかった。
- 職場体験をしつつ「職員との座談会」で、実際に働いている職員からリアルな声が聞きたいと思っている学生が半数以上という結果になった。

9. 希望するインターンシップの開催方法



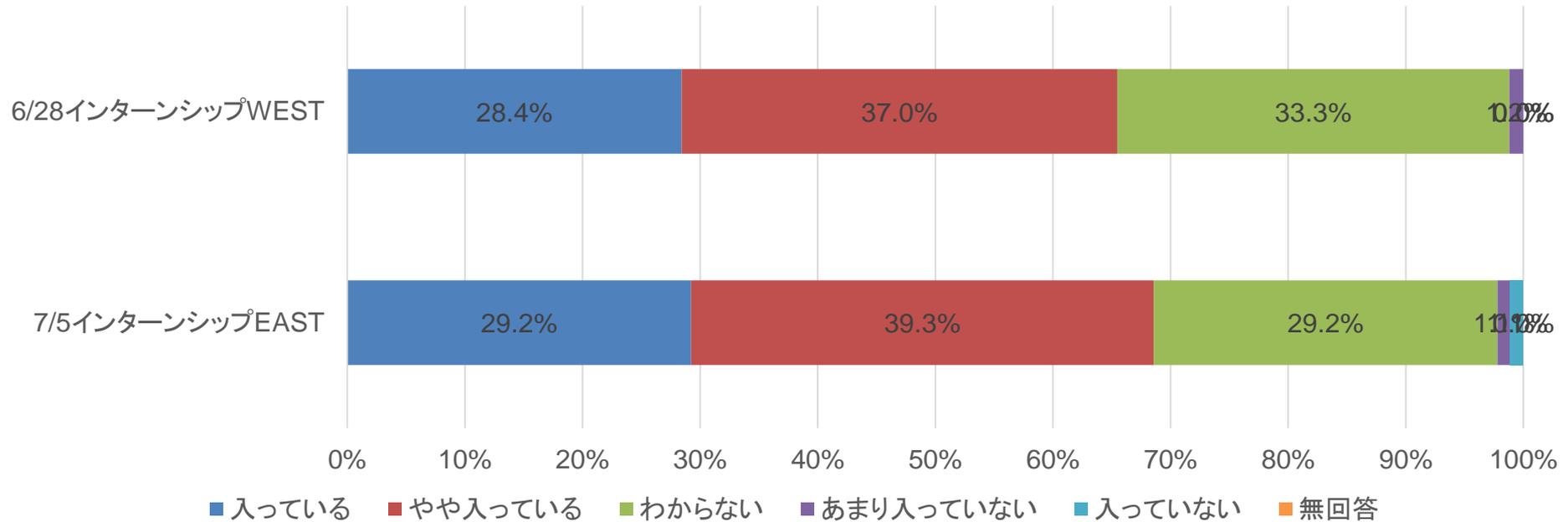
- 対面式のインターンシップには、そこまでこだわっていないことがわかった。
- 開催方法よりも、「何が体験できるか、プログラム内容次第で参加を決める」という動きが予想できる。

10. インターンシップに参加する期間でちょうどいいもの



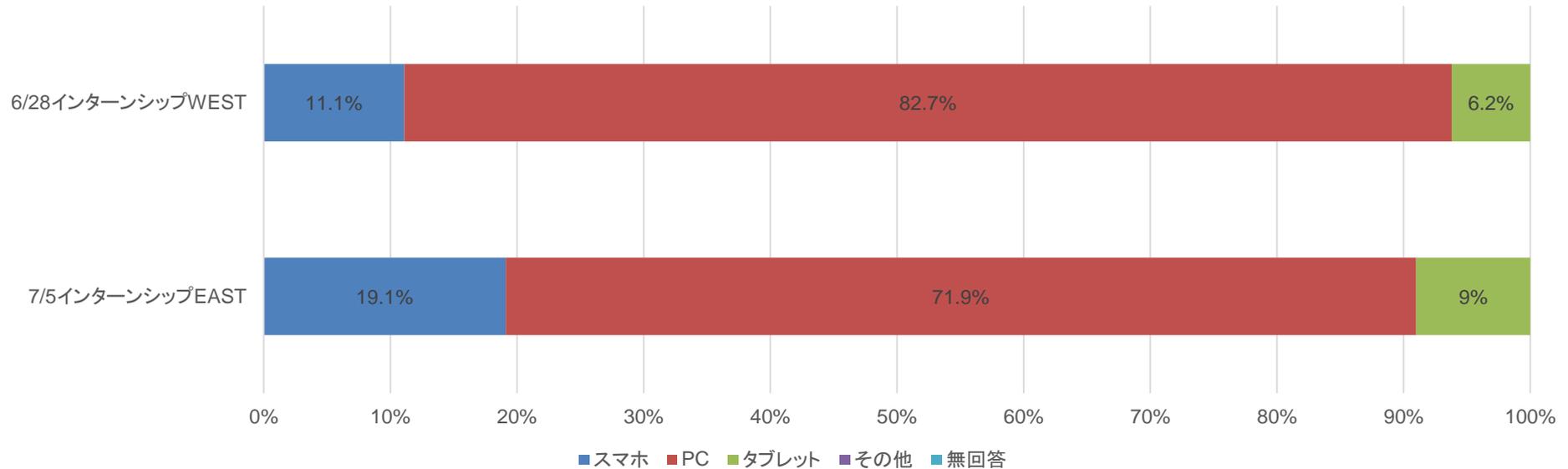
- 「2～3日」が一番多い結果になった。せっかく参加するなら、1 DAYよりも、しっかりとしたプログラムに参加して学びを得たいという気持ちの表れと思われる。

11. インターンシップ参加先は就職候補に入るか



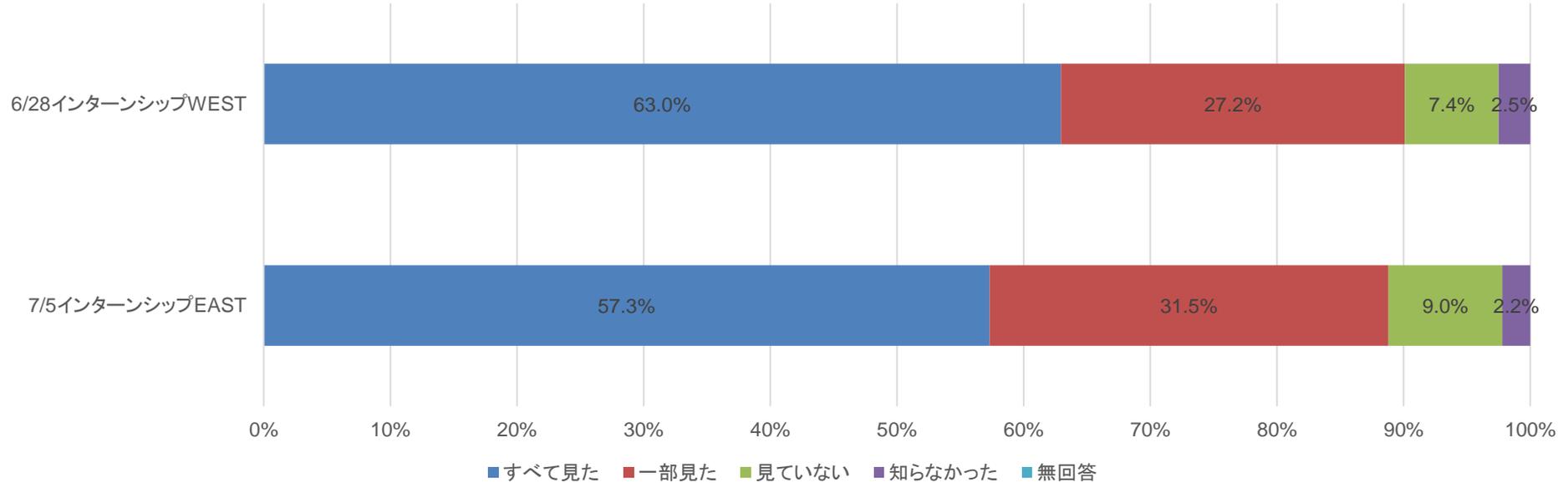
- 「入っている」「やや入っている」と回答した学生が6割を超えた。インターンシップに参加する段階で、ある程度就職先として意識していることがわかった。
- インターンシップフェアにおいて、学生と早い段階で接点を持つことが、法人の採用活動をスムーズに進める第一歩になると思われる。

12. インターンシップフェア参加端末



- 7～8割の学生はPCからの参加となっていた。
- 4月にオンラインでの就職フェアを始めた当初は、PC参加は4～5割程度だったことを考えると、学校の授業もオンラインになり、PCで参加することが当たり前になった結果と思われる。

13. 事前紹介ムービーの視聴



- 「すべて見た」「一部見た」学生が9割ほどとなった。この結果は、就職フェアと変わらない。
- 「見ていない」「知らなかった」学生は1割程度となり、法人のことを全く知らずに参加している学生は少ないことがわかる。

14. 当日の様子 オンライン開催



- オンラインシステムはzoomというオンライン会議システムを利用し、オンライン会議室上に出展法人と学生が集まりました。（上段左）
- FACE to FUKUSHIでは、配信用の各種機材を整え、雰囲気作りをしています。（上段右）
- ゲストに登壇していただきオープニングセッションを行いました。（下段）

